

# 県産木材を有効活用した製品の開発

## 利用できる木が増えていきます

・人工林の樹木は年々成長し、森林資源が35年で約4倍に増加するなど、本格的な利用時期を迎えています。

・大きく育った木を収穫して使ったら、また植える。この循環により、元気な森林を保っていくことで、水源涵養、土砂災害の防止等の森林の持つ多面的な機能の発揮につながります。

・地域材の活用は、地球環境の観点だけでなく、地域での雇用の創出、地域経済の活性化に貢献する点で大きな可能性があります。



木材は繰り返し使える地域資源



地域経済の活性化に貢献

## 地域の会社が地域の木材を使って開発しました

・地域で生産された木材を県内の合板工場が加工した際に芯材が発生します。それを有効に活用し、地場の木材加工会社が本製品を開発しました。



地域から集まった木材



(株) キーテック山梨工場が切削



合板を生産



芯材が残る



ログクラフト事業協同組合が製作

本製品が完成

やまなしの木を使おう



- 県は、平成31年3月山梨県県産木材利用促進条例を制定し、幅広い分野への県産木材の利用拡大を推進しています。
- このような中、本製品の開発にも支援しています。